※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　専門　家庭科

教科	(専)家庭	科目	保育基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	保育基礎　ようこそ,ともに育ち合う保育の世界へ　（教育図書出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

子どもの発達の特性、子どもの発達過程、子どもの生活、子どもの保育、子どもの福祉に関する事項を理解し、子ども文化とかかわらせて考え、保育の場で活かすことができるようにしよう。

２　学習の到達目標

a: 子どもの発達の特性、子どもの発達過程、子どもの生活など保育に関する基礎的・基本的な知識を身に付ける。保育に関する技術を総合的に身に付ける。

b: 子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付ける。

c: 子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的・主体的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	子どもの発達の特性、子どもの発達過程、子どもの生活など保育に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。 保育に関する技術を総合的に身に付けている。	子どもの発達や保育に関わる現状について理解を深めた上で、課題を見出し、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身に付けている。	子どもの発達や保育への関心を持ち、意欲的・主体的に学習に取り組み、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	子どもの保育	＊保育基礎を学ぶにあたってオリエンテーション ○保育の意義 ○保育の環境 ○保育の方法	a:保育の意義と重要性、保育者の役割を理解し、子どもと適切に関わるための基本的な知識を身につけている。 b:子どもの発達時期の特性を考慮した保育の工夫が必要であることを理解し、保育者にはどのような資質が求められるか等、保育者観についての考察を深める。 c:保育の意義や重要性、保育者の資質と役割を理解しようと意欲的に学習に取り組もうとしている。	定期考査	授業観察 プリント提出 振り返りシート 発表 レポート提出	授業観察 プリント提出振り返りシート 発表 レポート提出
二学期	子どもの発達	○子どもの発達の特性 ○乳幼児の発育と発達	a：乳幼児期の身体的、生理的特徴を捉え、人の発達過程を理解し、発達の特性についての知識を身につけている。心の発達の土台として大切な愛着関係の形成過程を学び知的発達、言葉の発達、社会・情緒的な発達など様々な側面から心の発達を捉え、子どもの健やかな発達についての知識を身につけている。 b：乳幼児期のからだと心の発達について理解し、人間関係の発達について乳幼児期の愛着関係がどのようにかかわっているかを考察し、また、どのような課題があるのかを考え、表現している。 c：乳幼児期が人の発育・発達において大切な時期であり、共通性や個別性といった特性があることを理解し、子どもの健やかな発達や保育に寄与していこうとする実践的な態度を身につけようとしている。	定期考査	授業観察 プリント提出 振り返りシート 発表 レポート提出	授業観察 プリント提出振り返りシート 発表 レポート提出

※令和４年度以降入学生用

三学期	子どもの生活	○子どもの健康と生活 ○子どもの食事	a：子どもの生活に関心を持ち、乳幼児期の栄養や食事の特徴を実習を通して理解し、子どもの健康的な生活を支える保育の基礎的な技術を身につけている。 b：子どもが安全で快適な生活をするために必要なことは何かを考え、子どもが生活習慣を身につけるための保育者は何ができるか思考を深めている。 c：子どもの発達に則した適切な生活習慣とその援助について主体的に学ぼうとしている。	定期考査	授業観察 プリント提出 振り返りシート 発表 レポート提出	授業観察 プリント提出振り返りシート 発表 レポート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度